



竹田陽一の独立起業物語

【マル秘メルマガ】より 2通目その1

原書を手にする

◆2. 思わぬプレゼント

フレッチャー氏が私のランチェスター法則に対する強い思い入れを感じとってか、なんと1916年の初めに出版されたランチェスター法則が載っている「英文の原書」と、ランチェスター先生の生涯を表した「伝記の本」の2冊をプレゼントしてくれたのです。

私にプレゼントするために、それらをオークションで手に入れたというのです。2冊の本を手にした私は、思ってもいなかったプレゼントにとっても感動しました。

しかし私は英語が全くダメで、何が書いてあるかさっぱり分かりません。

さっそく英語ができるパートさんを採用してランチェスター法則の翻訳に取りかかりました。

文章は70年も前のものであるばかりか、専門用語が多く出てくるために、パートさんはとても苦労していましたが、昨日は2頁、今日は3頁と、少しずつ翻訳の作業が進んでいきました。

こうして6ヶ月後によくランチェスター法則と、ランチェスター先生の生涯を表した伝記の主要部分の翻訳が終わったのです。

翻訳が終わったものを参考にしながら、改めてランチェスターの法則の原理を研究し直すとともに、この法則を経営に応用することについて本格的に研究を始めました。

◆3. 誤って伝えられているものが解かる

研究が進むにつれ、これまで日本に伝えられていたものの中に事実と違っているところがいくつもあることがわかりました。

その1つは、ランチェスター先生は第1次世界大戦で行われた空中戦のデータを分析しているうちに法則を考え付いたというものです。

第1次世界大戦のとき、イギリスの作戦本部にいた「リデル・ルート」は第1次世界大戦の本を出版していて、その中に空中戦について触れています。その記事によると、本格的な空中戦が始まったのは1916年の春からと書かれています。

ランチェスター先生が法則を発表したのは1914年10月2日ですから、空中戦が始まったのは法則発表から1年半後になります。これは明らかに誤りであることがわかります。

次に、ランチェスター先生はプロペラの研究者であったというものです。伝記の中に、プロペラの研究をしたことについては全く出てきません。それにランチェスター先生は26歳の時、航空力学について2冊の厚い本を書いています。この中にもプロペラの記事は全く出てきませんから、これは単なる推測だったということがわかります。

(続く)

ランチェスター経営(株)



〒810-0012 福岡市中央区白金1-1-8 チュリス薬院301

TEL 092-535-3311 FAX 092-535-3200

メールアドレス customer@lanchest.co.jp HP <https://www.lanchest.com>